
【宝塚第一中学校】 いじめ問題再発防止に関する基本方針にかかる行動計画

いじめは少人数大人数にかかわらず、コミュニティがあればどこでも起こる可能性があります。しかし、その可能性を大きくしないためには、友人関係、学級や学校の風土などの環境や条件を整え、いじめを起こさせない、いじめを許さない環境や状況を作っていくことを日々心がけていくことが重要と考えます。また、周囲だけでなく、生徒一人ひとりの自己肯定感を高めていくことや相手を思いやること、「ありがとう」や「ごめんなさい」が当たり前と言える人物形成をしていくことも大きな要因と考えます。

また、教職員においても、私たち教職員が生徒たちに愛情を持ち、子どもたちを中心に据えた、温かい学級経営や教育活動を展開することで、生徒たちに自己存在感や充実感を持たせることができると考えます。教職員の温かい声かけが、「認められた」と自己肯定感につながり、生徒たちを大きく変化させるということも認識し、生徒ともに学級や学年、学校運営を進めます。教職員間で互いの授業を見学して意見交換をしたり、学年行事や学校行事の運営において相談するなど気軽に話ができる職員室の雰囲気構築、生徒指導や生徒支援、学年運営、学校運営の十分な情報交換や屈託のない意見交換ができていることも継続して取り組みます。

【重点的な取り組み】

- i) 生徒一人ひとりの自尊感情を高めます
- ii) 教員間の情報交換や情報共有を丁寧に行います